**第14回大和郡山病院 地域協議会**

開催日時　 令和5年3月9日（木）14：00～15：10

場　　所　 大和郡山病院３階講義室

議　　題　 １ 活動状況報告

２ 意見交換会

出 席 者　 外部委員

大和郡山市医師会副会長 西﨑和彦、大和郡山市歯科医師会長 大野忠彦、

大和郡山市薬剤師会長 植松道代、大和郡山市福祉部課長 山内英之、

大和郡山市すこやか健康づくり部次長 下田健史

　　　　　 院内委員

院長 松村正彦、副院長 松下光伸、副院長（兼）患者総合支援センター長 岡裕也、

事務部長 塩見拓、看護部長（兼）患者総合支援センター副センター長 久門容子、

診療放射線科技師長（兼）患者総合支援センター副センター長 中尾哲、

訪問看護ステーション看護師長 原田美香、医療社会事業専門員 井上佐和、

総務企画課長（兼）患者総合支援センター副センター長 前田昌宏、経理課長 相浦裕文

（順不同、敬称略）

・開催の挨拶（松村院長）

本日はお忙しい中、皆様お集まりいただきましてありがとうございます。JCHOに移行して9年が経ち、10年目を迎えようとしております。皆様のご支援の賜物と大変感謝しております。この協議会は年2回開催する形で地域の皆様のお声をいただく会であります。本日は令和5年1月から活動しております患者総合支援センターの活動を中心に病院の状況や活動報告をさせていただき、皆様が日頃感じておられることをお話しいただければと思っております。

・委員の紹介ならびに患者総合支援センタースタッフ挨拶

　　　患者総合支援センタースタッフ挨拶　理学療法士長　　　　鈴木　達也

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　看護師長　　　　　　増井　里香

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　副看護師長　　　　　岩田　千里

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　副看護師長　　　　　山澤　理恵

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　看護師　　　　　　　力久　信子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療社会事業専門員　中野　真伍

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医事課係長（兼）　　稲場　義博

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務員　　　　　　　森田　彩

・議題

活動状況報告

患者総合支援センター　センター長　　岡　裕也　「患者総合支援センターの活動について」

　　　　〃　　　　　　副センター長　久門　容子

　　　　　　　〃　　　　　　副センター長　中尾　哲

　　　　　　　〃　　　　　　副センター長　前田　昌宏

・意見交換会

西﨑医師会副会長

・私も以前はこちらの病院で勤務しておりました。勤務していた時もですが、患者はいまでも市民病院と思っておられる方がいます。しかし、あえて厳しい意見を言わせていただくなら、市民病院としての機能はしていないと感じられます。地域・行政・患者の連携ができて市民病院としての機能が発揮されると思うのですが、このコロナ禍において、病院が行政と連携をして協力体制を構築できていたのか疑問です。コロナ感染においては、病院も大変な状況だったとは思いますが、開業医もとても大変であり、医師会でも対応について議論してきました。開業医個人の力ではどうすることもできない状況でした。PCR検査場の確保やコロナワクチン接種への対応も病院の対応が遅かったため、医師会から行政へ直談判し、半年後になんとかPCR検査場を開設していただけたが、国の指示にて医療機関での検査が可能となったため、資金を投入した検査場も十分な運用に至らずに閉鎖となってしまった。ワクチンの集団接種についても医師を派遣していただけなかったことや、発熱外来についても協力が得られない状況であったため、医師会（診療所）と病院の垣根が高いものとなってしまったように思います。患者さんからすると頼りになる病院と思われていて、愛着もあり期待度が高い病院ではあると思いますが、一緒に取り組めなかったことがとても残念です。今回患者支援センターができて、一人の患者を発症初期からシームレスに診ていくということについて連携は必須だと思うので、ありがたく感じでおります。

（松村院長）コロナ感染について、対応が遅れてしまったのでは事実であり、たいへん反省しています。病院運営でもそうですがこれからは何事にもスピード感をもって取組みたいと考えております。

大野歯科医師会長

　・歯科医師会では以前より訪問歯科診療を行っており、訪問診療をまだまだ広めていきたいと考えています。術前の口腔ケアについては対応できています。今後入院中の患者の突発的な対応についてどうするか検討しなければいけないと考えています。どういうケースが多いのかなど歯科医師会でも統計とっています。以前はベッドサイドで治療等行うこともありましたが、外来の一部を開放いただけるとのことで、訪問診療がより行いやすい状況になると思います。

（松村院長）術前の口腔ケアについていつもご協力いただきありがとうございます。当院は歯科がないので、高齢者や悪性腫瘍の患者なども課題はありますが、今後もよろしくお願いします。

植松薬剤師会長

　・現在も薬剤の出荷調整がなされており、2～3カ月発注がなかった薬剤などは次回の納入がされない状態となってしまうため、毎日の発注確認業務に時間がかかり通常業務に影響がでているような状況です。病院での新規採用薬などの情報も提供いただいておりますが、できればタイムリーにお知らせ頂けると助かります。お知らせがないと、薬局でもすぐに対応できず、結果患者さんにご迷惑をかける形となってしまいますのでよろしくお願いします。

山内大和郡山市福祉部課長

　・一人暮らしの高齢者の安否確認について、ご相談させていただきたいと思います。福祉部でも市内の高齢者全てを把握できているわけではないので、緊急事態になった際、市の職員が患者さん自宅などへ訪れるときに救急隊にも連絡をします。その時に当院での受診歴がある患者などの場合、既往歴や病状などの情報をスムーズに救急隊へ伝えるため医療従事者の同行をお願いできませんか。

　　（松村院長）出来る限り応えていきたいと考えておりますが、物理的にマンパワーの問題もあります。今後の課題として検討します。

（岡副院長）時間外の対応等困難な部分はあるかと思いますが、日中でしたら、病院としても対応できるところはあるかと思います。今後はMSW等を通じ情報共有できるようにしていきたいと考えます。

下田大和郡山市すこやか健康づくり部次長

　・病児保育事業等ご協力いただきありがとうございます。コロナにより保育園の行事なども縮小となり、子供達は不自由だったと思います。今後は感染症の分類も変更されることから従前のように活動していけるのかなと思っております。今後もしっかり連携しながら運営していきたいと思っています。

　　野田患者・家族代表

　　　・おかげさまで、家族みんな健康に過ごせているため、病院にお世話になる機会は減っております。今回はたくさんの先生のお話を伺うことが出てよかったです。今後も安心して診て頂ける病院であってほしいと思います。

　（松村院長）病院内にご意見箱を設置しています。いろいろなご意見いただいております。金銭的・人員的にすぐに対応できないものもありますが、患者さんの希望に沿うような運営を心掛けたいと思っています。

閉会の挨拶（松下副院長）

　地域協議会にお忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。

今日頂きましたご意見は参考にさせて頂きまして、地域医療の充実に貢献いたします。

以上